



●今月のテーマ●
ロタウイルス感染症の予防と治療

ロタウイルス感染症って？

ロタウイルス感染症は、11月～2月ごろに流行する感染症です。生後3カ月～3歳ごろの子どもに多くみられ、5歳ころまでにはほとんどのおうと子どもが経験します。激しい嘔吐と白色の下痢が特徴で、3～8日程度で治ります。

※吐き気や下痢が続く場合は、市販の下痢止めなどは使用せず早めに医師の診察を受けましょう。

アドバイス1 予防編 **手洗いは丁寧に**

帰宅した後や食事の前、トイレの後など普段から、せっけんを使って10秒以上こすり洗いし、子どももしっかり手を洗わせましょう。



アドバイス2 予防編 **おうと嘔吐物の後始末に注意**

症状のある子どもの嘔吐物や便には大量のウイルスが含まれています。後始末をした後は、よく手を洗いましょう。



アドバイス3 治療編 **水分補給が大切**

おしっこの量が減る、唇が乾くなどは脱水症の心配があります。脱水症を防ぐには、水分の補給が大切です。吐き気が落ち着いてきたら、少量の水分を飲ませることから始め、少しずつ量を増やしていきましょう。



ところが、その名称から、自転車の専用道路と誤解されやすく、子どもたちの通学路、ウォーキングや散歩ができる憩いの空間であることは、広く知られていないのが現状です。そこで、自転車利用者として歩行者が仲良く利用し、多くの区民に愛着を持ってもらえるように、厚別南地区・青葉地区の住民、北星学園大学の学生で発起人会が作られ、区内での愛称募集の活動が始まりました。平成二十年



北星学園大学の学生が企画した自転車プラリ。

厚別南地区と青葉地区を走る「白石サイクリングロード」は、自転車と歩行者が利用する道路です。最近では、近隣の住民や地域の学校が協力して、トンネル内のモザイクアート制作や花壇作りなど、さまざまな活動も行われ、単なる道路ではなく、地域の財産としての価値も高まっています。



市民自治

みんなで、まちづくり

地域の活動は、市民自治の出発点。各地区での取り組みを紹介します。

サイクリングロードの愛称募集

地域に愛される名前に

二月には選考委員会が愛称を決定します。

大谷地生まれ育った発起人の代表、橋本修さんは「白石区から分区分して厚別区ができて間もなく二十年。親しみやすく覚えやすい厚別区独自の愛称を定めて、厚別区のシンボルとして地域に愛される道路になつてくれれば」と話しています。



トンネルのモザイクアート制作と橋本さん。

皆さん、愛称を考えて応募していませんか？

サイクリングロード愛称募集要領

- 応募方法：住所、氏名、電話番号、「愛称名」を明記のうえ、下記のいずれかの方法で応募。
 - ・はがき：〒004-8612 厚別区厚別中央1条5丁目厚別区役所 市民部地域振興課 まちづくり調整担当係
 - ・FAX(ファクス)：895-5930
 - ・E-mail(イーメール)：at.chiiki@city.sapporo.jp
- 応募締切：平成20年1月15日(火)必着
- ※採用させていただいた方には、記念品を贈呈します(複数の場合、抽選により決定)。
- また、応募者にも抽選で参加記念品を贈呈します。
- お問い合わせ：事務局(地域振興課内) ☎895-2400 内線252